

南島原市市制施行20周年記念 特別オペラ公演



絵：谷野しずか

オペラ

「忘れられた少年 -天正遣欧少年使節-」

台本:石多 エドワード 作曲:柴田 南雄

今から440年前の信長の時代、13歳前後だった少年使節はローマ教皇に会うため、8年半もかけて欧州へ旅しました。

欧州では大歓迎を受け様々な体験をし、帰国した彼らを待っていたのは、秀吉による禁教令でした。彼らの壮絶な戦いと歴史を、優しく力強く歌い描くこの公演では、**一般公募の地元出演者**とオペラプラザ長崎の出演者が一つとなり、感動的なステージをお届けします。ぜひ彼らの物語と、歴史に触れる特別な時間をお楽しみください。

2026.3.22(日) 13:30開場 14:00開演

南島原市ありえコレジヨホール

全席自由 一般 ¥2,000 高校生以下 ¥1,000

チケット発売日 |
2026.1.26(月)
午前9時前売り開始

チケット販売所 |
南島原市ありえコレジヨホール (販売時間 9:00~20:00)
加津佐公民館・口之津公民館・布津公民館・深江公民館・西有家総合学習センター・カムス
北有馬ピロティー文化センター・原城オアシスセンター (販売時間 9:00~17:00 平日のみ)
※ありえコレジヨホールのみ土日でも販売します。

主催 | 南島原市、南島原市教育委員会 制作・協力 | 東京オペラ協会、オペラプラザ長崎 後援 | 南島原市文化協会
お問合せ | 生涯学習課 社会教育班 tel:0957-73-6703 mail:shakaikyouiku@city.minamishimabara.lg.jp



『天正遣欧使節肖像画』(京都大学附属図書館所蔵)

【ストーリー】

荒涼とした小高い丘に墓標が散らばっている。そこに時空を超えて宇宙を旅する『ときゆく者』が登場し、墓標達を蘇らせ物語が始まる。

ザビエルの教えを引き継いだ少年達が回りの人々の反対を押し切って、日本からの初めての使節として長崎の港を船出しヨーロッパに渡り大歓迎を受ける。しかし、8年半の青春の全てをかけた大旅行ののち、長崎に帰国すると豊臣秀吉によりキリシタン禁教令が敷かれており、4人は突如逆境に立たされる。

- 伊東マンショは過労によりまだ若くして長崎で病死。
- 原マルチノはマカオに追放され一人寂しく客死。
- 千々石ミゲルは悩み抜いて棄教。
- 中浦ジュリアンは長崎の西坂で壮絶な殉教。

その少年達がどう自分の人生を切り開いていったか、また挫折せざるを得なかったかを史実にそって描かれる。

最後に再び『ときゆく者』が現れ、それぞれの人生を自分なりに見事に生き切った若者たちに、私たち現代人をだぶらせながら、人間を優しく賛歌して、また宇宙の彼方に去ってゆく。

フィナーレでは、再び眠りについた墓標郡が、永遠回帰を表わすようにまた起き上がり、オペラのテーマソングである『陽は昇り、陽は沈む』を大合唱して幕となる。

【南島原公演キャスト】

《指揮・総監督》石多 エドワード

《ソリスト》

伊東マンショ(少年)：八木 まみ(南島原市)
 伊東マンショ(青年)：相良 伸介(南島原市)
 千々石ミゲル(少年)：小見川 淳子(島原市)
 千々石ミゲル(青年)：山口 陽子
 原マルチノ(少年)：平 里美(島原市)
 原マルチノ(青年)：枝川 一也
 中浦ジュリアン(少年)：筒井 華恵
 中浦ジュリアン(青年)：國元 隆生
 ベルナルド：川内 奈都子
 秀吉：上ノ坊 航也



【公演日】

2026.3.22(日)

13:30開場

14:00開演

【公演会場】

ありえコレジヨホール

大村純忠：廣田 修

巡察師ヴァリニャーノ：岩永 一也

ときゆく者：石多 加代子

仏僧：日野 秀一

町の上：中牟田 峰子

ザビエル：駿河 健太郎

ヤジロウ：村瀬 草太郎

おんな：吉井 美幸

マリア：松崎 千鶴(南島原市)

《コーラス(地元出演者)》

児童合唱：寺澤 ほたる・寺澤 優

永田 結菜・八木 紬

混声合唱：磯野 潔・岩永 聡子

酒井 信助・末吉 サチコ

本村 雅子・元山 久美子

大平 哲也・大平 光代

見道 理恵

《コーラス(東京オペラ協会、

オペラプラザグループ出演者)》

市丸 志乃・市丸 幸志

岩永 朋子・宇佐見 滋子

川内 煌久・川内 歌乃

小林 智子・坂上 まゆみ

秦 美智世・秦 美代子

秦 雄路・原田 恭子

兵藤 好美・藤澤 美保

前川 ひろみ

《その他》

キーボード演奏：枝川 泰子

練習ピアニスト：野中 真由美

プロジェクター操作：野中 真由美

コーラス指導：石多 加代子

舞台監督：遊

